

農委会報

第45号

平成28年度

新庄

編集・発行

平成29年1月10日

新庄市農業委員会

☎0233-22-2111

内線 256



期待されています!
若手農業者の紹介
 裏表紙にも掲載しています。

表紙では升形（八向地区）の矢口淳さん（41歳）をご紹介します。

矢口さん宅は、奥さん、長男、長女、両親、祖母の四世代7人家族、経営面積が水稻13ha、トルコギキョウ16a、うるい10aの複合経営農家です。

淳さんは農業短大を卒業後、新庄市の若者園芸実践塾で一年間研修を積み、平成9年に就農しました。現在はJA新庄市花き部門に入り、高品質のトルコギキョウの出荷を目指しています。今後は、現在の水稻・園芸作物の複合経営の確立を目指し頑張っていきたいとのことでした。また、JA新庄市花き部門の部長をしているので、部会の目標として共選体制の確立、品質の統一、安定化を進め、市場から高評価を得られる産地となることを目標に努力していきたいと語ってくれました。（農業委員 清水哲夫）

目次

新年のあいさつ.....	2面
山形県農業委員大会・あじさい表彰.....	2面
味覚まつり・農地利用状況調査と 農地の適正管理について.....	3面
新農業委員・農地利用最適化 推進委員の募集・推薦について.....	4面
農業委員会の新体制について.....	5面
若手農業者紹介.....	1・6面
おしらせ 編集後記.....	6面



新年のあいさつ

新庄市農業委員会

会長 星 川 豊

新年あけましておめでとうございます。日ごろより農業委員会の業務運営に、多大なるご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、昨年4月1日に施行された改正農業委員会法により、「農地利用の最適化の推進」が農業委員会の義務業務とされ、委員の選出方法も公選制から市長が議会の同意を得て任命する制度へと変更されました。これに加え、耕作放棄地の防止や担い手への農地集積を推進するための農地利用最適化推進委員の新設が定められるなど、農業委員会は今大きく変わろうとしています。現体制の農業委員会は今年7月19日まで継続しますが、7月20日からは新たな体制の下で執行することになります。

農業情勢においては、次期アメリカ大統領の環太平洋連携協定(TPP)交渉離脱の発言や30年産以降の米政策など今後の進展がどうなるのか予想できず、農業者にとって先行き不透明な状況にあります。私たち農業委員は自らの役割を再確認し、引き続き担い手への農地の集積や遊休農地対策に重点を置いた活動を通し、本市農業の継続的発展のために頑張る所存でありますので、今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が皆様方にとりまして幸多き年でありまますようご祈念し、新年のあいさつといたします。

本年もよろしくお願ひします。(議席番号順)

星川 豊	海藤 芳正	小嶋 忠昭	吉野 昭男
高橋 眞	伊藤 忠男	柏倉 嘉門	星川 勇吉
高橋 和彦	今田 則雄	佐藤 喜代志	清水 哲夫
樋口 彦弥	畠 腹銀蔵	浅沼 玲子	笹 水 行也
高橋 敏行	佐藤 義一	井上 茂雄	三原 常也
			齋藤 謙二

山形県大会が新庄で開催されました



今年度の山形県農業委員
大会は、10月28日に新庄市
民文化会館で開催され、県

内各地から農業委員約700名が集まりました。大会の前段で、各種表彰が行われ、新庄市からは平成26年の改選時まで、長年にわたり農業委員活動に尽力された安食孝一さん(萩野地区)が農業会議会長表彰を受けられました。



議事の部では「農業・農村の活性化に向けた政策提案」、「新・農地を活かし、担い手を応援する全国運動」の推進に関する申し合わせ、「農業者年金の加入推進と情報提供活動の強化に関する申し合わせ」等の議案が提出され、全ての議案が満場の拍手で可決・採択されました。

続いて全国農業会議所より、TTP体制下における農政新時代の展開、担い手への農地集積等による構造改革の推進、農業・農村の活性化と地方創生の実現、改正農業委員会法施行後の新体制の推進、農地中間管理事業への対応などが報告されました。農業を取り巻く環境は刻一刻と変化する状況にあります。限られた予算を有効活用していくため、的確な情報発信と地域に合った農産物の発掘を目指し、農家の所得向上につながるように今後も努力していきたいと思ひます。(農業委員 齋藤謙二)

新庄市のあじさい表彰を受賞されました



1月4日に新年市民の集いの場にて、平成26年の改選時に退任された、齋藤純一さん(八向地区)が、長年の功労を称えられ、表彰されました。

第9回新庄味覚まつりへ出店



前回に引き続き、恒例の新庄味覚まつりに出店しました。今回も山形牛の鉄板焼き&新庄産のネギ焼き、先着プレゼントで新米つや姫おにぎりを提供させていただきました。

新米つや姫のおにぎりプレゼントということもあり、開店直後からお客さんが途絶えることがなく、たくさんの方に食べていただきました。準備していた牛肉は前回よりも量を増やしたのですが、昼12時過ぎには完売してしまいました。

今回も新庄で生産された食材を紹介させていただき、たくさんの方に食べていただきました。ここから口コミが広がり、より多くの方に食べていただけるようになればと思います。(農業委員 笹 行也)



～農地の適正管理のお願い～

昨年8月に、金沢地区内の一部原野化しつつある農地の所有者に対し、農地の適正管理に対する指導を行いました。

農地が原野化すると、有害鳥獣・害虫などが住み着き近隣の農地へ悪影響を及ぼすことや、不法投棄の温床になることが懸念されます。実際に原野化が進んだ農地の草刈りを行ったところ、タイヤ等の粗大ごみや生ごみなどを大量に回収する結果となりました。

平成28年はクマの目撃情報が例年より多く寄せられましたが、原野化した農地に出没するようなことがあれば非常に危険です。

これ以上農地が原野化することが無いように、農地の所有者の皆様には、草刈りなどをしっかりと行っていただき、農地を農地として利用できるよう適正に管理していただくようお願いいたします。

今後も農業委員会では、農地を適正に管理していないと判断される所有者に対し、指導を徹底して参りますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

農地利用状況調査を行いました

平成27年度に「耕作されず荒廃していると思われる農地」について利用意向調査を行った結果は次のとおりです。

【発送】359筆(権利者210名)

【回答】回答率40%

	筆数	%
①自分で耕作する	84	58
②貸している人が耕作する	21	14
③貸したいので相手を探して欲しい	15	10
④売りたいので相手を探して欲しい	26	18
合 計	146	100

①②と回答された方は全体の70%を占めていますが、平成28年度の農地利用状況調査においても当該農地に大きな変化が無い状態です。

意向通りに対応しない場合や、意向を表明しない場合には、農業委員会が農地法に基づき、農地中間管理機構との協議を勧告することになります。

協議勧告を受けた遊休農地については、固定資産税の課税が強化される場合があります。

③④と回答された方について容易に借り手が見つからない場合は、個々の農地の実態に応じた具体的な解決策を、農地の所有者と共に検討していきます。

なお、本年度は7月と10月に農地利用状況調査を行い、遊休農地や違反転用農地、不法投棄箇所などを班ごとに一斉に調査しています。



農業委員と農地利用最適化推進委員の 推薦・募集を行います

募集期間

平成29年2月1日(水)～2月28日(火)

推薦・募集の方法

推薦の場合は、地域の農業者や農業団体等の推薦が必要です。

自ら応募する場合は、応募用紙による提出となります。

どちらの場合も、**平成29年2月28日(火)まで**、新庄市農業委員会へ所定の書類を提出して下さい。用紙は新庄市農業委員会に備え付けてありますが、市のホームページからダウンロードすることもできます。

公表について

2月中旬の応募状況の中間経過や募集結果については市のホームページで公表します。決定した委員等の任命は7月となる予定です。

任 期

3年（平成29年7月20日～平成32年7月19日）

●農業委員

募集人数 19名

報 酬 34,500円/月（役職委員は増額されます）

主な業務 総会に出席し、農地の賃借・売買、転用許可等について審議・判断を行うほか必要に応じて現地調査を実施します

要 件 農業に関する識見を有し、農業委員会の掌握事務（農地の売買や賃借の許認可、農地転用の意見決定、担い手への農地利用集積、耕作放棄地の防止・解消など）を適切に行うことができる者

●農地利用最適化推進委員

募集人数 8名…担当地区を決めてご応募いただくこととなります

（新庄地区：3名、稲舟地区：1名、萩野地区：3名、八向地区：1名）

報 酬 18,000円/月

主な業務 担当地区で農地等の利用の最適化のための実践活動

要 件 担い手への農地利用集積、耕作放棄地の防止・解消などに熱意と識見を有する者

新庄市農業委員会 ☎0233-22-2111（内線255～257）

※推薦または応募に関する詳しい内容については、市のホームページをご覧くださいか、新庄市農業委員会にお気軽にお問い合わせ下さい。

農業委員会制度が変わります！

農業委員会の役割が「農地等の利用の最適化の推進」として強化されます

- 農業委員会は農地法等に基づく許認可事務だけでなく、これまで以上に担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、農業への新規参入者の促進に積極的に取り組んでいきます。

農業委員の選出方法が変わります

●公選制から推薦・公募になります

農業委員の選出方法が、これまでの公職選挙法に基づくものから、市長が議会の同意を得て任命する方法に変わります。

市長は任命に当って、あらかじめ地域の農業者や農業団体に候補者の推薦を求めるとともに、公募も行います。推薦と応募の結果は公表が義務付けられ、市長はこれを尊重することが求められています。

●過半を認定農業者に、利害関係者以外も登用を

農業委員の過半は認定農業者であることが求められています。また、農業委員会の掌握事務に関して利害関係のない者を1名以上含めることが求められています。

●女性や青年の積極的な登用促進を

農業者の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮することが求められています。このため、女性や青年を積極的に登用していきます。

「農地利用最適化推進委員」が設置されます

●農業委員会は、農業委員とともに地域で活動する推進委員を委嘱します

農業委員会は、区域ごとに農業者等から推進委員の候補者（農地等の利用の最適化の推進に熱意と見識を有する者）の推薦を求めるとともに、希望者を募集し、農地利用最適化推進委員を決定し、委嘱します。また、その結果を公表します。

農地利用最適化推進委員とは？

農地利用最適化推進委員は、農業委員と同じく、新庄市の「非常勤の特別職公務員」であり、農業委員と力を合わせて「農地等の利用の最適化の推進」のために活動します。

農業委員会活動の一環として、担当地域での遊休農地の発生防止・解消に向けた農地パトロールや、農地中間管理機構と連携を図りながら、**農地の拡大意向を持つ農業者と農地の出し手との結びつけ、農地の売買、貸借の許可申請に当っての現地確認等を行います。**日常的な現場活動は推進委員が中心となり、農業委員と連携して対応します。



期待されています!
若手農業者の
紹介
高山光弥さん(松本)

市内松本で新規就農4年目の高山光弥さん(42歳)をご紹介します。家族は妻、父母、祖母の5人、そして大きな猫一匹。両親は稲作担当で、光弥さんはうりい等野菜を担当しています。経営規模は水田約6ha、畑約30aです。松本地区では大変貴重な若手専業農家です。

光弥さんは12年間勤務していたOA機器会社を辞めた後、結婚を機に就農しました。サラリーマン時代もいつかは家業を継いで農業をする気持ちを持ち続けていたそうです。

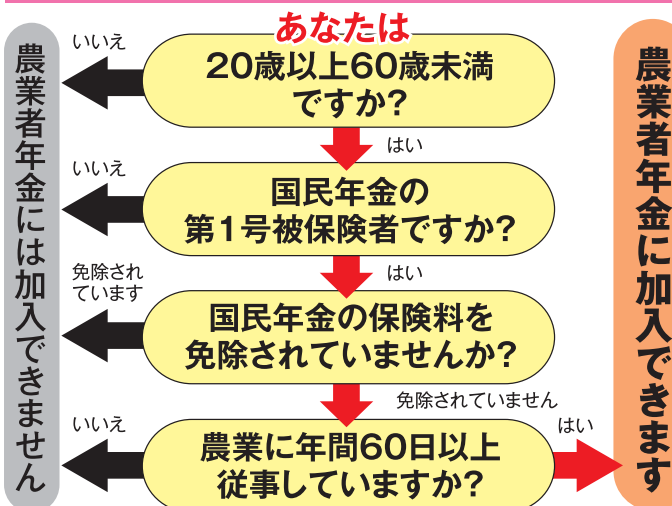
現在農作業の傍ら、勉強のために先進農家へ出向き、真剣かつ熱心に農業と向き合っています。冬期間はハウスの中でうりいを栽培し出荷しています。うりいの生産グループに入っていますが、会員も減少傾向だそうで、貴重な若手として注目されています。又、地域保全会の事務局としても活躍しています。

将来的には機械化により経営規模の拡大を考えており、そのため新しい機械やハイテク・システムに興味があるようです。

農業従事者の高齢化と減少の進む状況は松本地区も他と同じであり、大変期待されている方です。(農業委員 海藤芳正)

これからの生活を農業者年金で考えてみませんか?

●あなたは農業者年金に加入できますか?



加入のご検討を
メリットは下記の6点

- 農業者の方なら広く加入できる
- 積立方式で少子高齢化時代に強い
- 保険料の額は自由に決められる
- 終身年金で80歳までの保証付き
- 税制上の優遇措置がある
- 農業の担い手には保険料の国庫補助がある

◎詳しくは、お近くの農協または農業委員会にお問い合わせください。



農委広報編集委員

- 笹 行也委員 (新庄地区)
- 海藤 芳正委員 (稲舟地区)
- 齋藤 謙二委員 (萩野地区)
- 清水 哲夫委員 (八向地区)

(笹 行也)

編集後記

農業委員の活動の一部を紹介させていただきました。新庄市でも来期より新方式により委員が選出されることとなります。また、新しく農地利用最適化推進委員も加わることで農地パトロールが今まで以上に重要な業務になります。

新庄の農業・農家の役に立つ農業委員会として活動に取り組んで参りたいと思いますので、今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

農業者新聞を購読しませんか?

全国農業新聞は、農業者年金、税金、農業経営などの確な情報を提供する農業専門誌です。

○購読の申し込み 農業委員会事務局へ

(Tel) 0233-1221211 / 内線256・257

*毎週金曜日発行/購読料:月額700円(送料・税込)

